

迷惑メール対策を強化

～5月31日より、3GのSMS送信数を制限～

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:ビル・モロー)は、インターネット接続サービス「ボーダフォンライブ!」を快適にご利用いただけるよう、迷惑メールへの対策を順次強化しています。今回、第3世代携帯電話(以下、3G)向けに提供しているSMS(ショートメッセージサービス)を利用した迷惑メール送信行為を予防するため、1台のボーダフォン3G携帯電話から1日に500件以上のSMSを送信した場合、その後20日間SMSの送信を規制することとし、2005年5月31日(火)より実施します。

ボーダフォンでは、2003年12月より第2世代携帯電話(以下、2G)のロングメールおよびスーパーメール、2004年3月より3GのVGSメール、同年11月より2Gのスカイメール、2005年2月より3GのMMSにおいて、送信数の制限を実施しています。今回、迷惑メール対策を強化するため、3GのSMSにおいても送信数の制限を導入します。これにより、「ボーダフォンライブ!」で提供するメールサービスのすべてにおいて、送信数の制限の実施が完了することになります。

メールサービスごとの送信数の制限内容は、以下のとおりです。

	メールサービス	対応機種	送信数制限内容	導入時期
3G	SMS	ボーダフォン3G携帯電話全機種	1日に500件以上送信した場合、その後20日間規制	2005年5月
	MMS	902・802・702シリーズ	24時間以内に1,000件以上の宛先に送信した場合、その後24時間規制	2005年2月
	VGSメール	V8シリーズ	3時間以内に120件以上の宛先に送信した場合、その後21時間規制	2004年3月
2G	スーパーメール	V6シリーズ、J-5xシリーズ	3時間以内に120件以上の宛先に送信した場合、その後21時間規制	2003年12月
	ロングメール ロングEメール	V4・V3・V1シリーズ J-0xシリーズ	3時間以内に120件以上の宛先に送信した場合、その後21時間規制	2003年12月
	スカイメール ¹	ボーダフォン2G携帯電話全機種	1日に500件以上送信した場合、その後20日間規制	2004年11月

1 スカイメールで3時間以内に120件以上の宛先にEメールを送信した場合、その後21時間規制となります。

以上

- スカイメールは、ボーダフォン株式会社の登録商標です。
- Vodafone、Vodafone live!(ボーダフォンライブ!)は、Vodafone Group Plcの登録商標または商標です。
- ボーダフォングループは世界26か国で約4億1640万人以上の加入者(2004年12月末現在、出資全子会社の合計加入者数)を持ち、さらに14か国の事業者と提携して世界をリードする携帯電話会社です。

< ボーダフォン、メールサービス一覧表 >

	メールサービス	対応機種	送受信可能相手先	最大送受信容量
3 G	MMS (マルチメディアメッセージングサービス)	902・802・702 シリーズ	ボーダフォン携帯電話、 他社携帯電話、PCなど	300Kバイト ¹
	VGSメール	V8シリーズ	ボーダフォン携帯電話、 他社携帯電話、PCなど	200Kバイト ¹
	SMS (ショートメッセージサービス)	ボーダフォン3G 携帯電話全機種	ボーダフォン携帯電話	140バイト (全角最大70文字相当)
2 G	スーパーメール	V6シリーズ、 J-5xシリーズ	ボーダフォン携帯電話、 他社携帯電話、PCなど	30Kバイト ²
	ロングメール ロングEメール	V4・V3・V1シリーズ J-0xシリーズ	ボーダフォン携帯電話、 他社携帯電話、PCなど	6Kバイト
	スカイメール Eメール ³	ボーダフォン2G 携帯電話全機種	ボーダフォン携帯電話、 他社携帯電話、PCなど	送信128バイト (全角最大64文字相当) ----- 受信384バイト (全角最大192文字相当)

1 文字メッセージと添付ファイルの合計

2 一部のJ-5xシリーズを除く

3 他社携帯電話やパソコンとEメールの送受信ができるオプションサービス